

2026 年度一般選抜（コア試験・プラス試験）

出題ポイント

英 語

【法学部・経済学部・文学部・理学部】

出題の意図

I、II 長文読解問題

段落毎の論理構造と役割を理解した上で、文章全体の構成や意味を把握できているかを確認します。設問は、マーク式と記述式からなり、基本的には、前後関係や文章全体の流れを理解しているかを問う問題で構成され、英語の総合的な読解力が試されます。

III 穴埋め問題

比較的短めの英文の空所を補充する問題です。語彙・熟語・語法の力に加え、前後関係を瞬時に理解する力が試されます。

IV 語法問題

連語関係や、熟語などの慣用表現に関する力を確認します。

V 文法問題

文法的に誤っている箇所を見つける問題です。英語の基本的文法力がしっかりと身に付いているかを確認します。

VI 会話応答問題

英語の対話をとおして、基本的な会話表現や応答の仕方が理解できているかを確認します。

VII 穴埋め英作文

平易な日本語を平易な英語で的確に表現する力を確認します。

法学部コア試験・

文学部（英語英米文化学科）プラス試験

解答及び解答例

（記述式については解答例です。別解もありえます。）

I. A イ B ロ C ハ D イ E ロ F イ G ロ H ロ

I 私たちの環境は部分的には、[自分たちの周囲の人たちの遺伝子でできている] (21 字) J ロ、ト

II. A ハ B ハ C ロ D male (great) (tits) E ロ F イ

G [鳥たちが生まれ故郷の近くにとどまる地域では] その土地の歌声は特有のままであり続ける傾向がある (21 字)

H ニ I ハ J ハ、へ

III. (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) ロ (5) ニ

IV. (1) ロ (2) ニ (3) ハ (4) ニ (5) イ

V. (1) ニ (2) ハ (3) ハ (4) ロ (5) ハ

VI. (1) ロ (2) ハ (3) ニ (4) ロ (5) ロ

VII. (1) Excuse me, I'm afraid I might be (lost). I'm a (stranger) around here.

(2) I think (there) is much (room) for (improvement) in this plan.

経済学部コア試験・法学部プラス試験

解答及び解答例

（記述式については解答例です。別解もありえます。）

I. A イ B イ C ロ D イ E ハ F (concrete) G ニ

H 私たちは[最初の判断に頼ることに気をつけるべきだ] (19 字)

I ニ J ハ K ニ、ト

II. A (resources) B ニ C ロ D イ E ハ

F 運動選手が [プレッシャーの中でも、確実に積極的に反応する方法] は多数ある。(24 字)

G ロ H ニ

I Learning the skill of having (a) (better) (reaction) (to) (stressful) (situations)

J ハ、ト

III. (1) ハ (2) ハ (3) ニ (4) ニ (5) イ

IV. (1) ロ (2) ニ (3) ロ (4) ニ (5) ハ

V. (1) ハ (2) イ (3) ハ (4) ニ (5) ハ

VI. (1) ロ (2) ハ (3) ニ (4) ニ (5) ロ

VII. (1) It is (up) to you to decide how (much) to (spend) on the plan.

(2) In Alaska, people (never) go out without (wearing) a thick coat during winter.

文学部コア試験・理学部プラス

解答及び解答例

(記述式については解答例です。別解もありえます。)

- I. A ニ B イ
C Webster wasn't driven by a (patriotic) (motive) alone
D ハ E ロ F ロ、ハ G ニ
H 綴り字改革協会 (the Spelling Reform Association) と違って、その組織はアルファベットの文字を「加えることよりも、アルファベットから文字を取り除く」ことに熱心だった。(25 字)
I ハ J ホ、ト
- II. A ハ B ニ C ハ D ニ E (the) (frozen) (pizza)
F ハ G ロ
H 新奇さを求める顧客の欲求に訴える必要から、「さらに手の込んだ変わり種が提供されるようになった」(24 字)
I ロ J ロ、ヘ
- III. (1) ニ (2) ハ (3) イ (4) イ (5) イ
IV. (1) ロ (2) イ (3) ハ (4) ニ (5) イ
V. (1) ニ (2) ハ (3) ハ (4) ロ (5) ハ
VI. (1) ハ (2) イ (3) ハ (4) ハ (5) ロ
- VII. (1) I was late (for) the concert because I (failed) to check the train (timetable).
(2) (What) made you (interested) in Japanese culture?

理学部コア試験・

文学部 (心理学科・教育学科) プラス試験

解答及び解答例

(記述式については解答例です。別解もありえます。)

- I. A ロ B ロ C ロ D イ E ハ
F 魚が「痛みを経験しているかどうかを知るのは難しい」(21 字)
G ロ H ロ
I You would treat the fish as you would (treat) any other animal
J イ、ハ
- II. A イ B ニ C ニ
D あなたは本物のバニラの香りと味を失うということが「どのようなことか、おそらく想像したことはない」だろう。(22 字)
E ハ F ハ
G making the window for pollinating flowers (manually) very narrow
H ロ I ハ J イ、ホ

- III. (1) ニ (2) ニ (3) ニ (4) イ (5) ハ
IV. (1) ニ (2) ハ (3) ロ (4) イ (5) ロ
V. (1) イ (2) イ (3) ロ (4) イ (5) ニ
VI. (1) ロ (2) イ (3) ハ (4) ハ (5) ロ
VII. (1) He couldn't (make) it to the appointment on (time) due to the (traffic) jam.
(2) If you have (any) questions about London, feel (free) to call me anytime.

【法学部・経済学部・文学部・理学部】

問題の構成

4 学部とも長文問題の I と II、短いパッセージの穴を埋める III、語彙・熟語・語法・文法を問う IV と V、会話応答問題の VI、穴埋め式英作文の VII から構成されています (試験時間 90 分)。

問題の出題趣旨

長文問題の I と II では 700 語前後の英文を素材として、受験生のみなさんが長文の内容をきちんと把握することができるかを確かめるため、日本語による説明や日本語訳を含め様々な問いが用意されます。文章中の代名詞が何を指すのか、何が何の言い換えなのか、何と何が対立する概念なのかを押さえながら、文と文との論理的な関係を理解して文章全体の流れをつかむ力が試されます。

本年度の長文問題において、法学部では「遺伝子と環境という先天的要因と後天的要因の関係」「鳥の鳴き声の多様性とそれを生じさせる要因」、経済学部では「発想の可能性を見出す評価の仕方」「アスリートが感じるストレスとその対処方法」、文学部では「アメリカ英語の綴り字改革の歴史」「社会・経済・技術的变化の影響を反映したビザの歴史」、理学部では「魚の自己認識能力、知性、痛みの自覚などに関する人々の偏見と研究の成果」「バニラの栽培とその歴史」と、多様なトピックの長文が選ばれました。

以上のように、本学の入学試験問題では、社会や環境などに関する一般的なトピックや各専門分野に関連するようなトピックが素材として選ばれる傾向があります。入試問題の作成にあたっては、特別な予備知識を必要としない素直で読みやすい英文を選ぶように努めています。また、専門用語については、注を付けるようにしています。

長文問題の半分以上の長さ (300 語前後) の文章を読みながら穴を埋めていく形式の III は、単に語彙・熟語・語法に関する知識を問うのではなく、前後関係を理解してはじめて正答がわかるような設問を心がけています。

語彙・熟語・語法・文法について問うⅣとⅤは、英語を読む力だけでなく、英語を書く力、話す力とも関わります。慣用的な表現や連語関係を身につけることにより、英語を読む力に加え、英語を書いたり、話したりする力も高まります。

会話応答問題のⅥは、英語での会話で頻用される表現が出題されます。これは英語を話す力はもちろんですが、英語を聞く力とも関わります。

穴埋め式の英作文であるⅦは、平易な日本語の内容を平易な英語で的確に表現する力が問われます。高校３年までに学習した語彙で十分に対応できるはずですが、不規則変化動詞の過去・過去分詞がきちんと書けるか、時制などの文法が理解できているか、連語関係に習熟しているかなどの点も試されます。

解答の際の留意点

まず、落ち着いて問いの指示を読み、何をどう答えることが求められているのかを理解してください。例えば、意味を問われているのか、あるいは理由を聞かれているのかなど、しっかりと指示を把握してから解答をしてください。また、語や語句を探す問題がある場合には、どの段落から何語からなる語・句を探せばよいのかを瞬時に確認しましょう。

日本語にせよ、英語にせよ、誤字やミススペリングに気をつけ、読みやすい字で丁寧に書くことが大切です。特にそのまま書き写せばよいような問題で、スペリングを間違えてしまっただけではもったいないですから。

長文問題のⅠとⅡについては、長文問題であることを忘れないでください。例えば、下線部の意味を問われた場合も、下線部だけから答えを導きだそうとしないようにしましょう。その下線部が前後関係の中でどういう意味を持つのかを考えてください。

短いパッセージの穴を埋めていくⅢについても、一種の長文問題であると思ってください。語彙・熟語・語法の知識だけで答えようとせず、文章の流れ、前後関係をつかんで答えてください。

学習へのアドバイス

本学の入学試験問題は、英語の基礎的な力が身につけているのかを確かめることを主眼としており、難問・奇問の類は出題しないことを旨としています。特別な対策は必要ありません。学校での学習を中心に据え、あとは、なるべく英語に多く触れ、英語に慣れるように努めてください。

Ⅰ～Ⅲのための準備としては、普段から現代の社会における諸問題に広く関心を持ち、様々なトピックの英文を新聞・雑誌やインターネット

上でたくさん読んでおくこと、また、Ⅳ～Ⅶのための準備としては、常に慣用的な表現と連語関係に注意を払うことなどをお奨めします。慣用表現や連語関係については、前置詞を中心に押さえておきましょう。また、基本的な文法をしっかりと理解していることが、問題の種類を問わず、どの問題を解く上でも重要な鍵となります。

最後に、目をとおしてばかりでなく、耳をとおし、声を出し、手を動かして英語を学んでください。テレビドラマ・アニメーション・映画などを英語の字幕をつけて見ること、英文を音読すること、鉛筆を握って実際に英語を書くことなどによって、普段から英語に親しみながら、英語の知識と力を身につけてほしいと思います。

Answers for [I] – [V]

- I. 1. (a)
2. (c)
3. i (a) ii (d) iii (b) iv (c)
4. (c)
5. i (a) ii (d) iii (b) iv (c)
6. a (F) b (F) c (T) d (T) e (F)
7. a (F) b (T) c (F) d (T) e (T)
8. i (c) ii (a) iii (b) iv (d)
9. i (d) ii (c) iii (a) iv (a) v (f) vi (e)
10. 1 (A) 2 (B) 3 (C) 4 (N) 5 (O) 6 (P)
- II. (1) (a) (2) (c) (3) (a) (4) (b) (5) (a)
- III. (1) (b) (2) (b) (3) (b) (4) (d) (5) (c)
- IV. 1. (X) (g) (Y) (e)
2. 1 (b) 2 (a) 3 (c) 4 (d)
- V. Advertising is everywhere in modern economies in which a huge variety of brands are offered to a large pool of consumers. What function does it serve? In many¹ [main¹] economic theories² consumers are assumed to³ have all⁴ the information⁶ they need⁷. In reality⁸, however, they⁹ need to know¹¹ about the prices¹² of goods, their different features, and even about where to buy them. Advertising provides them these facts.
- (1) 6, 9 [or 4, 6] (2) 7, 4, 3, 7 (3) 7, 3 (4) 6 (5) 5, 5
(6) 2, 8, 4, 6, 6 (7) 3, 3 (8) 4, 8, 9 (9) 3, 9
(10) 6 (11) 6, 9 (12) 4, 3

Sample answer for [VI]

Part A

I agree with argument (2)

Part B (Examples)

Being successful and enjoying typical school sports requires physical abilities which some students may not have, limiting participation. E-sports are a good alternative that allows many different kinds of students who have previously been excluded to play so that everyone has equal access to the positive experience of teamwork. They should not replace common athletic sports, but expand the possibilities.

Structure of the exam

The 90-minute exam is composed of six parts. Except for the last item [VI], they are all multiple-choice.

[I] Long reading passage that includes related data.

[II] & [III] Short isolated sentences for structure and expression (vocabulary). [II] fill-in-the-blanks. [III] error-identification.

[IV] - Dialogue.

[V] - Paragraph fill-in question.

[VI] - Writing task to state an opinion in response to a given topic.

Aims and scope

[I] is an article of about 1,000 to 1,200 words, including some accompanying data. The topics are usually on global issues which are often dealt with in the social sciences. All items are multiple-choice or true/false questions on a mark sheet. The questions are designed to test the applicant's comprehension skills of reading text and data presented in tables, graphs and charts. The section also includes some questions to test knowledge of structure and vocabulary. The data sets may include the definitions of the keywords used. Test-takers should get used to reading texts of the length in English and practice understanding graphs, tables, and charts. In addition, they should be familiar with and be interested in global issues through the news.

[II] and [III] are language items testing vocabulary, discourse, and grammatical ability. Test-takers can prepare for these sections by reviewing their high school textbooks and practicing similar types of questions. Each question is scored according to the number of correct answers.

[IV] is a script of dialogue in an academic setting. Conversations occur between students and other students, faculty members, university staff, advisors, administrators, teaching assistants and so on. The 2026 question was a conversation between a newly arrived exchange student and two local university students at lunch. Test-takers can prepare for this item by listening to conversations in various English standardized exams for academic purposes.

[V] is a fill-in the blanks question that asks test-takers to complete the words in a paragraph on a social science topic. The item is designed to test the reading comprehension ability of short text and the ability to guess the words in context. Test-takers should be aware of basic grammatical structure and have a range of vocabulary to choose the correct word or form of the word to re-create a sentence. The answers

are entered on a marksheet by selecting numbers on the keypad to represent the letters to complete the words. Test-takers should familiarize themselves with this section's question and answer format by practicing similar questions.

[VI] is a writing task where test-takers are required to state an opinion in response to a topic and some positioning statements. Test-takers are to choose one statement to agree with in Part A. In Part B, further details and examples should be provided to support the answer given in Part A. The 2026 question was about the status of e-sports in schools. Answers are rated for clarity in supporting the opinion and logical thinking in structuring well-formed sentences. Test-takers should be very careful not to copy or repeat the statements given in the instruction. To prepare for this section, students should practice expressing opinions and disagreement, and providing reasons and examples.

General advice to potential test-takers

The English entrance exam to the Faculty of International Social Sciences is developed to select students suited for its curriculum in which students study social sciences in English. In addition to studying the materials covered in high school English textbooks, successful applicants prepare by reading and listening to news about current global affairs in both English and Japanese. When considering taking the exam, it helps to practice developing one's own opinions about social issues and supporting them with logical reasoning.

【国際文化交流学部】

出題の意図

本試験は、英語の文章を正確に読み取り、文脈に応じて適切な表現を判断する総合的な英語力を測ることを目的としています。問題は長文読解、語彙・語法、会話文理解、空所補充、英文完成などで構成されており、英語の基礎的な知識とそれを実際の文脈の中で運用する力を幅広く評価します。

長文読解問題では、語彙・文法・語法の理解を基礎としながら、英文の論理展開や筆者の主張を把握する読解力を測ります。扱われる題材は国際社会や文化に関わるテーマを含みますが、特別な予備知識を必要とするものではなく、文章そのものを丁寧に読み取ることで解答できる内容となっています。

語彙・語法問題や会話文の問題では、英語の基本的な文法知識や慣用表現の理解に加え、文脈に応じて最も適切な表現を選択する力を評価します。また、空所補充や英文完成の問題では、英文の構造を正確に理解し、与えられた条件に基づいて適切な語句や文を構成する力が求められます。

これらの問題を通して、受験生が身につけている英語の基礎的な知識だけでなく、文章全体の意味を論理的に把握する読解力、文脈に即して適切な表現を判断する力、そして英語を正確に構成する力を総合的に評価します。

国際文化交流学部コア試験

解答及び解答例

(記述式については解答例です。別解もあります。)

- I. 1. D 2. A 3. C 4. B 5. D
6. A 7. A 8. C 9. B 10. B
- II. 1. C 2. B 3. D 4. B 5. C
6. A 7. B 8. A 9. C 10. A
- III. 1. B 2. A 3. D 4. B 5. D
6. D 7. C 8. B 9. D 10. A
- IV. 1. C 2. A 3. D 4. A 5. B
6. B 7. A 8. D 9. A 10. A
- V. 1. from 2. than 3. not 4. With 5. to
6. the 7. as 8. of 9. were 10. each
- VI. 1. How long do (you plan to be away from work)?
2. What have I (done to make you so angry)?
3. He asked if (I had turned in the report).
4. Please feel free (to ask us any questions you may have).
5. While you're (on vacation, remember to check your email).

国際文化交流学部プラス試験

解答及び解答例

(記述式については解答例です。別解もあります。)

- I. 1. B 2. B 3. A 4. C 5. A
6. D 7. D 8. C 9. A 10. B
- II. 1. D 2. A 3. B 4. C 5. A
6. B 7. D 8. A 9. B 10. C
- III. 1. B 2. C 3. D 4. C 5. B
6. D 7. B 8. B 9. A 10. A
- IV. 1. C 2. D 3. A 4. C 5. A
6. A 7. C 8. D 9. A 10. B
- V. 1. from 2. With 3. it 4. terms 5. due
6. been 7. in 8. to 9. for 10. as
- VI. 1. Because it (was raining heavily, we decided to stay at home).
2. We were surprised to (find him still studying when we got home).
3. By the time we (arrived at the station, the train had already left).
4. The moment I saw (my parents, I was so happy).
5. The reason why he (decided to quit was not mentioned).

【国際文化交流学部】

問題の構成

長文問題の I と II、文の空所に最適な表現を選択する III、会話文中の空所に適切な表現を選ぶ IV、英文中の空所を補充する V、下線部に適語を入れて文を完成させる VI から構成されています。

問題の趣旨

問題の I は、700～950 語の英文を素材とし、文法・語彙・語法も含めた読解力を確認する長文問題です。文中の語句の意味を問う問題や、英文で述べられている内容に一致するものを選ぶ問題、英文の表現として妥当なものを選ぶ問題などが多く、従来型の長文読解問題となっています。本年度の I の長文問題では、国際文化交流学部のコア試験で「スペインのタイムゾーン」、プラス試験で「アイスランド人の幸福度」という国際的な話題が扱われましたが、いずれも特別な予備知識を必要とするものではありません。

問題の II は、600～900 語の英文を素材とし、文脈と語彙の理解力が求められる長文問題です。文中の空所を補充するのに妥当なものを選ぶ形式となっています。語彙の意味や用法を正しく理解する能力が求められます。本年度の II では、コア試験で「ボブ・ディランの歌詞」、

プラス試験で「ロークという中国移民の入植地」が扱われました。これらのトピックについても、特別な予備知識は必要ありません。

問題の III は、定型句や熟語表現を含む語彙・語法の問題です。文型・時制・助動詞・仮定法・比較・関係詞・接続詞などの純粋な語彙と文法の能力が問われます。

問題の IV は二者による会話文中の空所に補充するのに適切な表現を選ぶ問題です。会話の流れを正確に把握する力が必要であり、口語表現の知識そのものよりも、文法・語彙・語法といった総合的な英語力が測られます。

問題の V は比較的短い英文中の空所に入れるべき 1 語を記述する問題です。英文の内容を十分に理解したうえで、文法・語彙・語法の知識を総合的に活用する判断力が求められます。

問題の VI はリードフレーズに基づいて 5 語以上を用い、文を完成させる問題です。英文構造の理解力が測られます。肯定文・否定文・疑問文のいずれが求められているかを判断し、適切に英文を作成する力が必要です。

解答の際の留意点

まず、指示をよく読み、どのような答えが求められているのかを正確に理解してください。試験時間は 90 分ですので、各セクションに適切な時間を配分することが重要です。学力や英文の語数によって多少の差はありますが、目安として、問題の I は 25 分程度、問題の II は 20 分程度、問題の III～V はそれぞれ 10 分程度、問題の VI は 15 分程度で取り組むとよいでしょう。

長文問題の I では、設問の種類をよく把握したうえで解答を選んでください。語句の意味を問われているのか、内容一致問題なのか、表現の適切さを問われているのかを確認してから選択することが大切です。基本的に、パラグラフの順に小問 10 題が配置されていますので、各パラグラフを読むごとに対応する設問を確認していくのが効果的です。

長文問題の II では、文脈と語彙の理解が重要です。語彙・熟語・語法の知識はもちろん必要ですが、正解を選ぶためには文章全体の流れや前後関係をしっかりと把握することが不可欠です。

問題の III は語彙・語法中心の問題です。問題の IV では会話の流れや前後関係を踏まえ、空所に最も適切な表現を選んでください。問題の V では、短い英文中の空所に適切な 1 語を記述します。特に、前置詞・接続詞・冠詞などの機能語に関する知識とその運用力が重要です。問題の VI の記述問題に取り組む際は、まずどの種類の文（肯定文・否定文・疑問文など）が求められているのかを必ず確認してから英文を作成してください。

学習へのアドバイス

問題の I は、基本的にパラグラフの順に小問 10 題が設定されています。各パラグラフを読むごとに対応する設問を確認する方法が有効です。学習法としては、まず「長文読解に慣れる」ことが重要です。センター試験や共通テストの過去問を、時間を気にせず日常的に読む練習をするとよいでしょう。

ただし、一文一文を正確に理解できなければ、段落全体の内容を正しく把握することはできません。長文読解の練習と並行して、文法の基本事項を身につけたうえで、英文の構造をできるだけ正確に分析するという、基礎的で着実な学習も継続してください。英文構造を正確に把握できるようになることは、英文を自ら作成できる力の向上にも直結します。そのため、問題の VI の英作文対策としても大きな効果があります。文構造の理解に不安がある場合は、「構文」に重点を置いた市販の参考書を活用するとよいでしょう。

問題の III～V は、極端に難解な表現を問うものではありません。市販の単語集・熟語集で中級レベルまでの語彙と慣用表現を確実に身につけるとともに、文法・語法問題集を一冊仕上げておくと、読解問題対策としても効果的です。